



法人の太陽光発電の設置方法

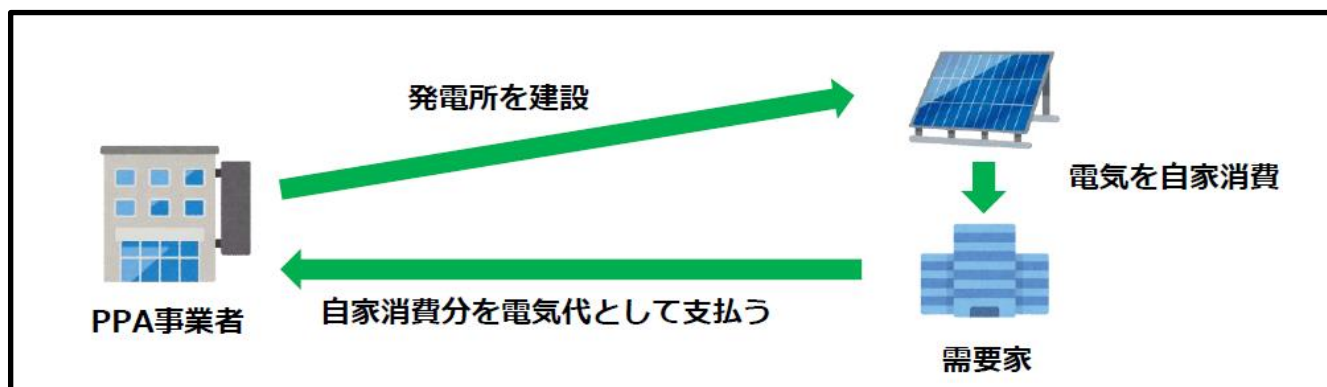
自己所有？PPA？選び方とは？

今月号では太陽光発電の設置方法において、話題となっているPPAと自己所有型について、メリットやデメリット等をご紹介します！

【初期費用 0 円で設置ができる】コーポレート PPA モデルとは？

PPAモデル（第三者所有型）とは、導入コスト“ゼロ円”で太陽光発電を屋根上に設置する手法を指します。

PPA事業者が、太陽光発電設備を自らの費用により設置し、発電設備から発電された電気を需要家に供給するという仕組みとなっています。



このうち、「コーポレートPPA」とは、企業（電力需要家）が発電事業者と直接PPAを結ぶことを言います。

企業にとっては、再生可能エネルギー由来の電気を使うことができ、脱炭素対策として注目が高まっている方法です。

<番外編> バーチャルPPAとは？

バーチャルPPA（仮想的な電力購入契約）とは、需要家は、電力を購入（使用）するのではなく、「環境価値」のみを購入するモデルです。電力の供給は必要ないが、脱炭素化したいという方に「バーチャルPPA」のニーズがあります。日本では、まだ経産省の検討段階ではありますが、北米や欧州などでは、導入が進んでいるモデルです。



☎088-660-6667

受付時間 8:30~18:00 (休業日:土日祝)

住所: 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1
FAX: 088-660-6668
Email: support@mirai-ecoene.com 担当: 亀谷



未来環境エネルギー計画
株式会社

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画

検索



自己所有かPPAかどちらを選べばよいのか？

自己所有モデルとは、自社の敷地内の太陽光発電でつくった電気を電力会社に売らずに、工場や店舗などの自社設備で使用するシステムのことです。
自己所有モデルの最大のメリットは「電気代削減効果が高い」ということにあります。
一方PPAモデルのメリットは、「初期費用ゼロ」で、
設備のメンテナンスなどの手間もなく「リスク」を抱えずに太陽光発電を使用できることです。

自己所有とPPAを比較した表が以下です。

	自己所有型	PPA型
電気代削減効果	高い	低い
節税効果	あり	なし
初期費用	必要	不要
メンテナンス	必要	不要
契約期間	なし	20年程度

自己所有とPPAは、どちらが優れているということではなく、どちらが自社に向いているのかを判断する必要があります。

そのためには、現在の電力使用状況を把握し、シミュレーションする必要があります。
弊社では無料でシミュレーションさせていただいておりますので、お気軽に以下よりお問い合わせください。

オンサイトPPAかオフサイトPPAかどちらを選ぶのがよいのか？

PPAモデルには、「オンサイト」と「オフサイト」がありますが、その違いは発電設備の場所が「敷地内」か「遠隔地」です。
太陽光発電システムを自社内に設置できる方は「オンサイトPPA」がおすすめです。
そして、太陽光発電のもつ「環境価値」を享受し、脱炭素化に取り組みたい方は「オフサイトPPA」がおすすめです。

	オンサイト型PPA	オフサイト型PPA
託送料	不要	必要
再工不賦課金	不要	必要
工事期間	長期	短期

☎088-660-6667

受付時間 8:30~18:00 (休業日:土日祝)

住所: 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1
FAX: 088-660-6668
Email: support@mirai-ecoene.com 担当: 亀谷



未来環境エネルギー計画
株式会社

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画

検索

